

おたる 市議会だより

Otaru
City Council
Newsletter



第 102 号

発行／小樽市議会 編集／小樽市議会広報委員会
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

令和7年11月1日発行



おたる潮まつり「潮ねりこみ」出発前に迫市長と記念撮影を行う参加議員一同（令和7年7月26日）

議会の動き

- 8月27日 議会運営委員会
9月 1日 議会運営委員会
2日 本会議
8・9日 議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
10日 議会運営委員会、本会議(一般質問)、
予算特別委員会(正副委員長互選)、
決算特別委員会(正副委員長互選)
11・12・16日 予算特別委員会(総括質疑)
17日 総務・経済両常任委員会
18日 厚生・建設両常任委員会
24日 議会運営委員会、本会議
30日 決算特別委員会(書類審査、総括質疑)
10月 1日 決算特別委員会(総務・経済両常任委員会所管事項)
2日 決算特別委員会(厚生・建設両常任委員会所管事項)
3日 決算特別委員会(総括質疑)

令和7年 第3回定例会

第3回定例会では、障害者本人が自分の就労能力、希望や適性に見合った就労先を選べるよう支援する「訓練等給付費（就労選択支援）」などが計上された「令和7年度一般会計補正予算」のほか、埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故による国からの要請を受けて調査を行う「大規模下水道管路特別重点調査事業費」が計上された「令和7年度下水道事業会計補正予算」、市立病院の診療科目に「呼吸器外科」を追加する「病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案」などを審議しました。

議案のうち、令和6年度各会計の決算認定については、決算特別委員会に付託し、第3回定例会後に委員会を開催して審査しました。第4回定例会で決算特別委員長から審査結果が報告された後、採決する予定です。

＊＊定例会の議決結果は、8ページをご覧ください＊＊

小樽市議会ホームページ



「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをお読みになれます。

小樽市議会公式SNS

Facebook



Instagram



みらいの主な質問

【代表質問】



中村 岩雄 議員

に対する考え方を示してください。

答 本年3月から、町会を代表して総連合町会に参画



平戸 理史 議員

【一般質問】

で活動しています。こういった先例を参考にすると、今後の地域おこし協力隊員の募集もスマートに進むと考えますが、今後はどういった分野での協力隊の活用が考えられるか、示してください。

答 今後の活用については、観光分野も含め、本市の地域課題解決のため、広く検討しています。



富良野市では、未利用財産の維持管理経費の抑制と不用財産の積極的な民間への売却・貸付けによる有効活用として、未利用財産利活用基本方針を策定しています。積極的な財産活用と市民への公開という方針は参考にしてほしいと考えます、本市での基本方針策定について、見解を伺います。

*歴まち計画は重点区域以外でも取組を

問 重点区域に設定された地域では、歴史的風致の維持及び向上を図るための施策が

重点的かつ一体的に推進されると理解しますが、重点区域以外の蘭島からオタモイまでの地域や朝里などでは、何か取組をしないのか、示してください。

答 本計画において歴史的建物保全助成事業や未指定・未登録建造物の調査事業、歴史的建造物めぐり事業など、市内全域に及ぶ事業も位置付けており、小樽地域遺産連合会をはじめ、地域の意見を伺いながら、取組を進めています。



問 オーバーサーフィズム対策連絡協議会への地域住民や町会代表の参加により地域の声を反映させることは重要であり、また、年に一回程度、関係町会への経過報告や意見交換も必要と考えます。住民参加の現状と、関係町会への経過報告等

答 現在、文科省や道教委の通知に基づき児童生徒への盗撮行為の防止に向けた取組を行っていますが、今後、対応方法などを検討する際には、提言書の内容も参考にしたいと考えています。



*地域おこし協力隊制度の活用

問 観光は地域おこし協力隊との親和性が高く、他の自治体では、新たな観光コンテンツの創造や地域の魅力発信、観光施設の管理運営などの内容

【主な質問項目】

- ▽宿泊税を財源に観光振興を
- ▽運河散策路に給電設備を設置
- ▽花火大会の安全性とごみ処理
- ▽後援イベントの周知協力強化
- ▽税控除見直しの影響と対応策
- ▽老朽化した上下水道管路の更新
- ▽新幹線開業遅延でアクションプラン見直し
- ▽旧市有地の開発行為がもたらす観光振興
- ▽日本遺産で観光振興と地域活性化を
- ▽市民の主体的な防災取組に支援強化を
- ▽認知症サポーター養成講座を町会で
- ▽市文化祭の活性化
- ▽教育現場の性暴力被害を根絶
- ▽介護予防事業の地域格差是正
- ▽地域包括支援センターと町会の連携強化

答 近隣地への影響を考慮する必要があるほか、土地の形状や用途地域、接道などの

不動産の払下げの促進

答 市有財産における払下げに関する課題を示してください。

答 廃校となつた小中学校や

未利用財産の利活用

答 廃校となつた跡を利用検討委員会や用途廃止施設の利活用検討会議に詰りながら利活用を検討しているため、現時点では、基本方針の策定は考えていません。

状況、測量や鑑定評価などの費用面が課題であると認識しているます。

未利用財産の利活用

公明党の主な質問

【代表質問】



白川 貴城 議員
しらかわ たかしろ

小学校給食費無償化について

〔問〕 国の無償化決定により子育て支援が大きく前進しました。

市としても、しっかりと取り組んでほしいと考えます

〔答〕 無償化により子育て世帯の負担軽減が図られ、安

定的に質の高い給食を提供でき

ると考えています。また、現在、国から詳細な制度設計は示され

ていませんが、実施に向けて情報収集を行い、この取組をしっかりと進めたいと考えています。

北海道新幹線札幌延伸について

〔問〕 公明党が市長からの要望を受け止め、国に働きかけた結果、国の「骨太の方針」に北海道新幹線早期開業に向けた記載がなされました。これを受けて、市長の考え方と期待される効果を示してください。

本市にとって、今回の記載は前向きな動きであります。「骨太の方針」には、早期開業の実現に加え、沿線自治体の声

を聴きながら、開業の遅れによる影響にも対応していく方針が示されており、地域経済の活性化や、まちづくりの遅れによる影響が低減されるとともに、地域の実情が政策に反映されることを期待しています。



支援として、補助金制度を検討してほしいと考えますが、見解を伺います。

【地域の防災力向上を図るために】

防災マスター養成が有効であると認識しており、他都市の状況を踏まえながら検討していくと考

えています。

【防災DX推進による情報収集・解析について】

〔問〕 速報性と視覚的な把握に優れたシステムとしての、SNSを通じた市民からの迅速な情報収集について、見解を伺います。

本制度は行政DXの実現に向けた重要なステップであり、人材不足や事務負担の軽減に直結する仕組みであるため、更なる推進を提案しますが、見解を伺います。

〔答〕 将来的に職員確保が難しくなる中、職員にとって事務負担の軽減につながるものであるため、更なる推進に努めたいと考えています。

分事として捉えられるような取組や機会を設けるなど、同じ知識、意識、課題を共有して取り組まなければならないと考えますが、見解を伺います。

〔答〕 保有する全ての施設の維持は困難であり、公共施設等総合管理計画に掲げた「公共施設の総量を減らすこと」や「長寿命化による更新費用の縮減」について、計画に基づき着実に進めなければなりません。

そのためには、本市の現状と課題について、市民と職員が共通の認識を持つことは大切であり、今後も様々な機会を通して、公共施設への理解を深めていただけるよう取り組んでいきます。

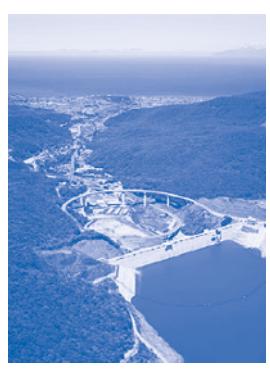
利用したいとの要望があります。どのようにすれば可能なか検討し、北海道と協議を進めてはどうかと考えますが、見解を伺います。

〔答〕 朝里ダムの水は、市の原水として利用しており、湖面利用による水質汚染の危険性も否定できず、また、ダム周辺利

用者の増加も考慮されるため、道や府内関係部署で調整を行い、まずは、ダム管理者である北海道による可能性を検討する必要があると考えています。

【朝里ダムの湖面利用について】

〔問〕 カヌー、SUP、釣りのアクティビティで湖面を



【主な質問項目】

- ▽廃棄物最終処分場について
- ▽小樽市内の観光バス駐車場について
- ▽他国との貿易について
- ▽キャッシュレス決済の民間導入状況
- ▽奨学金返還支援について
- ▽子どもたちの平和教育について
- ▽緊急避妊薬のスイッチOTC化について
- ▽虐待を受けた子どもへの支援ACEスコア
- ▽電子投票について
- ▽子の看護休暇の運用改善について
- ▽街路防犯灯設置費補助金制度について
- ▽地域学校協働本部と推進員の配置を
- ▽観光行政とDMOの役割について
- ▽ウイングベイ小樽1番街4階の活用
- ▽旧北海製罐第3倉庫の個別施設計画は

【一般質問】

自主防災組織の実効性の向上について

〔問〕 学校との連携強化、防災士や地域防災マスター養成にも活用できる防災活動への

成にも活用できる防災活動への職員や市民へ周知を徹底し、自

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



高橋 龍 議員
たかはし りゅう

人口減少について①

観光客の再訪を促して関係人口とし、段階的に半定住から定住へとつなげていくブリッジ（橋渡し）戦略は描けているか、見解を伺います。

答 観光客の再訪を促し、関係人口とすることを目的としたFMラジオ放送での小樽の魅力発信事業のほか、働きながら地域の暮らしを体験してもらう移住体験事業、親子ワーケーション事業などを展開し、関係人口の創出から、移住・定住につなげるを見据えて取組を進めています。

人口減少について②

国内外の優秀な人材が一定期間小樽に滞在し、新たな風を吹き込む「知や文化の循環拠点」を目指し、人の流れを意図的に創り出す政策が必要と考えますが、見解を伺います。

答 梁川通りにある複合施設「裏小樽モンバルナス」など、歴史や文化を生かしつつ、人を巻き込み、新たな魅力を生みます。



地域包括ケアシステムについて

【地域ケア推進会議について】

み出す活動拠点もあり、まちの活性化につながっているものと考っています。そのような拠点を中心としたまちづくり活動の支援を通じ、にぎわいづくりと人の流れの創出に取り組んでいきたいと考えています。

災害対策について

問 市役所本庁舎は、建物の老朽化により大規模災害時の庁舎機能停止リスクが高くなっていますが、仮に使えないなった場合の代替庁舎や、代替

庁舎に関する検討項目について、示してください。

答 現行の業務継続計画（BCP）では代替庁舎の指定に関する設定がないため、今回のBCP改定に併せて設定する予定ですが、代替庁舎に関する検討項目については、耐震性能や必要な設備・スペース等を有し、災害の被害予測がない施設を選定したいと考えています。

【一般質問】



佐々木 栄 議員
ささき えい

歴史的・文化まちづくりについて

問 歴史的風致維持向上計画認定を機に小樽の街の歴史的景観を作っている古民家や石造倉庫などの取壊しに少しでも歯止めをかけることはできるのか、見解を伺います。

答 古民家や石造倉庫などが失われていく実情については懸念しており、本計画の事業を推進することで、市民や事業者の歴史的景観に対する保全意識の向上を図りたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽小学校ペーパーレス、デジタル活用
- *▽アイヌの歴史学習やチャシについて
- ▽公共施設長寿命化第1期計画前半
- ▽第2次小樽市上下水道ビジョン
- ▽市内の大型開発・建設について
- ▽地域医療と介護について
- ▽男女共同参画について
- ▽市内の感染症と熱中症について
- *▽クーリングシェルターについて
- ▽小樽の農業について
- ▽小樽市内の雇用状況について

特定利用港湾について

【特定利用港湾として小樽港を新たな対象にしたい】

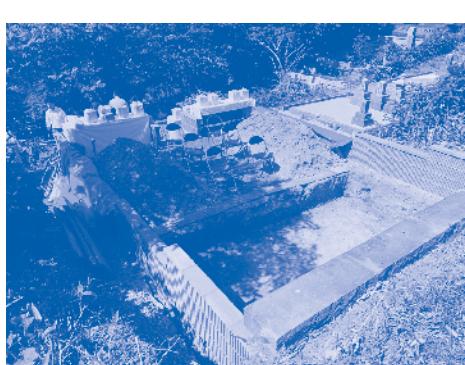
問 特定利用港湾として小樽港を新たな対象にしたい

の遺骨返還を求めていた団体、インカルシペの会に返還され、埋葬されたことについての見解を伺います。

答 アイヌの精神文化や心情を踏まえ、尊厳ある慰靈が実現されたことは、インカルシペの会をはじめ、広くアイヌの皆さんにとって、大きな意義があつたものと考えています。

問 国へ回答するまでの期間については、本年12月をめどとしていますが、関係団体等への説明状況などによっては、更に時間を要する可能性もあると考えています。

答 本年7月に、ウボボイで管理されていた遺骨19体と副葬品、本市総合博物館で管理されていた遺骨1体が、市内



日本共産党の主な質問

【代表質問】



高野さくら 議員

泊原発再稼働は反対を

問

市長は、市民の安心・安

全を第一に、再生可能工
ネルギーの比率を高めつつ、原
発に頼らない状況が望ましいと
しています。福島第一原発事故
などから得た知見等を踏まえ、
原発再稼働は反対すべきと考え
ますが、見解を伺います。

答

市民の安心・安全を第一

に判断していく立場に変
わりはありません。泊原発の安
全対策については、福島第一原
発事故を踏まえて策定された新
規制基準をクリアしたと認識し
ていますが、今後も引き続き確
認を行いたいと考えています。

軍事利用となる特定利 用港湾は反対を*

問

小樽港を特定利用港湾と
することについては、平
時から切れ目なく軍事利用でき
ることになることから、拒否す
べきであり、市民へ十分に周知
されない中で、少なくとも今年
度中の回答は見送るべきと考え
ますが、見解を伺います。

令和7年11月1日 おたる市議会だより

【一般質問】



く設定されている市営住宅によ
る居住支援は重要です。現状の
市営住宅の戸数を維持できるよ
う早めに建替えを進めるべきと
考えますが、見解を伺います。

事業費の平準化も図りながら計
画的に順次、建替えを行うこと
としています。

木陰や休憩できる所がな
く、年々暑さが厳しくなっ
ていることから、熱中症予
防のためにも東屋を設置すべき
と考えますが、見解を伺います。

東屋の設置も含め、どの
か、検討したいと考えています。

手宮線跡地の保全について
問 松井真美子 議員

市長は以前、児童館を含

め、子どもが安全で安心
して過ごせる居場所を充実させ
ていかなければならぬと答弁
していましたが、児童館等の増
設について見解を伺います。

手宮線跡地の保全について
問 松井真美子 議員

場所によっては雑草が目

立ち、維持や保全が不十
分な状況が散見されるほか、隣
接した空き家に不要物が放置さ
れ、景観を壊すような状況があ
ります。予算をしっかりと措置
し、もつと市民や観光客が楽し
める場所にすることが必要と考
えますが、見解を伺います。

側溝等の整備推進を

近年、短時間に集中して
雨が降る気候へと変わつ

てきており、8月には、複数の
市民から自宅の敷地に道路を
伝つて雨が入ってきたと連絡が
ありました。側溝等の点検、整
備を更に推進すべきと考
えます。

小貫 元 議員

おぬき はづめ

市が空き家を除却し、雪
押し場とするることは考
えいませんが、他都市において
取組事例もあることから、今後、
調査研究したいと考えています。

空き家解体し雪押し場に
問 小貫 元 議員

まつしまみこ

これまで大雨による災害
に強い道路の整備に努め
てきましたが、近年の想定を大
きく超える大雨による他都市で
の被害状況を踏まえ、今後は、
排水機能の強化など、被害の軽
減を図る溢水対策に努めていき
たいと考えています。

中央墓地に東屋の設置を
問 あずまや

これまで大雨による災害
に強い道路の整備に努め
てきましたが、近年の想定を大
きく超える大雨による他都市で
の被害状況を踏まえ、今後は、
排水機能の強化など、被害の軽
減を図る溢水対策に努めていき
たいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽児童生徒や市民の水泳環境整備を
- ▽市職員の部分休業について
- ▽毎年被爆地派遣で平和教育を
- ▽公共施設への冷房設置は急務
- ▽天狗山や祝津地区開発は慎重に
- ▽公園遊具は利用しやすい工夫を
- ▽市営住宅の修繕戸数を増やして
- ▽病院等経営維持ができる支援を
- ▽特定利用港湾は軍港化への道
- ▽トマホーク搭載の護衛艦が利用
- ▽商業流通港として発展が生きる道
- ▽新たな子育て支援金は国庫負担で
- ▽市のWi-Fiはパスワード方式に
- ▽議会に諮る前に募集広告は乱暴
- ▽市立病院と公的3病院の役割は

物価高騰下での支援にも市営住宅の建替えを

問 物価高騰が続く中、住宅
困窮者のために家賃が安

本市の財政状況から、直
ちに新設することは難し
いと考えていますが、公共施設
の整備に併せた検討など、子ど
もの居場所の充実を図らなけれ
ばならないと考えています。

答 本市の観光資源及び市民

が集う場所として活用す
るために、これまで鉄道施設の保
全に努めるなど、維持管理に努
めてきましたが、今後は、手宮
線跡地で活動するNPO法人北
海道鉄道文化保存会から意見を
伺うなど、新たな維持管理の方
法を検討したいと考えています。

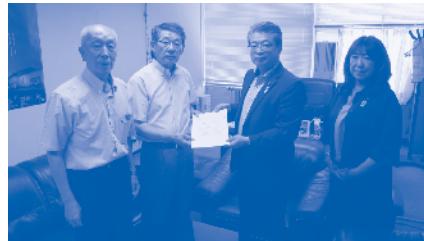
*…7ページの用語解説をご覧ください。

第3回小樽市議会「市民と議員の懇談会」実施報告書について

前号でもお伝えしましたが、5月31日に第3回小樽市議会「市民と議員の懇談会」を開催し、小樽市退職校長会の皆様と、「人口減少対策～子育て世代が暮らしたくなる小樽のまちづくり」を大きなテーマとして、5班に分かれてグループ学習による意見交換を行いました。

8月1日には、小樽市退職校長会の会長と事務局長に市議会にお越しいただき、第3回懇談会の実施報告書を手交させていただきました。

今号では、実施報告書の中から、各班での意見交換の内容について以下のとおり紹介します。



小樽市退職校長会への実施報告書手交の様子

	小テーマ	意見交換の内容
1 班	子ども・子育て	・子育て環境について ・学校統廃合について ・人間関係について
2 班	市 民 福 祉	・福祉施策について ・学校、子ども、子育てについて ・公共交通、公共施設について ・高齢者対応について
3 班	生 活 基 盤	・町内会の役員のなり手について ・空き家問題について ・歩道について ・市内のバス減便について
4 班	環 境 ・ 景 觀	・地域全体での教育連携について ・芸術・文化・科学交流の推進について ・自治やまちづくりの基本的な考え方について ・観光ガイドについて ・地域住民と観光客の相互理解について ・観光コースの開発について ・札幌の若者が小樽に住みやすい環境の整備について ・町内会での安否確認・見回りなどについて ・植樹活動について ・小樽の空気の良さのPRについて ・街路防犯灯の整備、除雪の徹底について
5 班	生きがい・文化	・公共交通について ・体育施設や文化施設、旧校舎などの公共施設について ・市役所窓口や手続きのワンストップ化について ・高齢者の生活について ・観光について ・歴史遺産について ・まちづくりについて ・親子での体験活動について ・子どもや住民同士とのつながりについて

※実施報告書については、市議会ホームページで公開しています。
右のQRコードからアクセスし、ご覧になれます。



第4回小樽市議会「市民と議員の懇談会」を開催します

今回も「人口減少対策～子育て世代が暮らしたくなる小樽のまちづくり」をテーマとして、次のとおり開催します。

- ・日 時…令和7年11月15日（土）14時～16時
 - ・会 場…小樽市勤労女性センター大ホール（ウイングベイ小樽1番街4階）
 - ・対象者…現在子育て中（0歳～高校生）で市内在住の方または市内で働いている方
- 参加者は9月から募集していますが、定員に達していない場合は、まだお申し込みいただけます。
詳細については、右のQRコードからアクセスし、市議会ホームページをご覧ください。



●GIGAスクール（2ページ）

1人1台端末などの学校ICT環境の整備・活用により、教育の質を向上させ、子どもの可能性を引き出す学びの実現を目的とした取組のこと。

●Net（ネット）119（2ページ）

聞き取りや発語が難しく電話での通報が困難な方のために作られた、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報を行うことができる緊急通報システムのこと。

●型紙工法（2ページ）

アスファルトやコンクリートの舗装の上に型紙を敷き、その上からスプレー塗装をする工法のこと。

●型押し工法（2ページ）

アスファルトやコンクリートの表面に型枠を押し込み、目地や模様を付けて塗装する工法のこと。

●歴まち計画（3ページ）

歴史まちづくり法に基づき市町村が作成する「歴史的風致維持向上計画」の略称。

●特定利用港湾（3・5・6ページ）

自衛隊・海上保安庁が、平素から必要な港湾を円滑に利用できるよう、港湾管理者との間で「円滑な利用に関する枠組み」を設けた港湾のこと。

●地域おこし協力隊制度（3ページ）

都市地域から過疎地域等に住民票を異動し、地域おこしの支援などを行なながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

●骨太の方針（4ページ）

政府の重要課題や翌年度の予算編成の方向性を示す「経済財政運営と改革の基本方針」の通称。

●SUP（スタンドアップパドルボード）（4ページ）

海・川・湖などでサーフボードの上に立ち、パドル（かい）を用いて水面をこいで移動を楽しむマリンスポーツのこと。

●スイッチOTC（4ページ）

医療用医薬品を、処方箋なしに購入できるOTC医薬品（一般用医薬品）に切り替えたもの。

●ACE（エース）スコア（4ページ）

18歳になるまでに経験した虐待や育児放棄などの質問に該当する数から算出されるスコアのこと。

●DMO（4ページ）

観光地域づくりを行う組織のこと。

●チャシ（5ページ）

とりでや館などを意味するアイヌ語のこと。

●クーリングシェルター（5ページ）

熱中症特別警戒情報が発表された場合に開放される指定暑熱避難施設のこと。

●OTC類似薬（8ページ）

医療用医薬品ではあるが、処方箋なしに購入できるOTC医薬品（一般用医薬品）と成分や効能が類似している医薬品のこと。

第3回定例会 議案等の議決結果について

全会一致で可決・同意となった議案

区分	件名
市長提出	令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算
	令和7年度介護保険事業特別会計補正予算
	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算
	令和7年度下水道事業会計補正予算
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案
	職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例案
	水道事業給水条例の一部を改正する条例案
	下水道条例の一部を改正する条例案
	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
	工事請負変更契約について[宮公園競技場トラック等改修工事]
	工事請負変更契約について[公営住宅建替工事(塩谷B住宅)]
	工事請負変更契約について[公営住宅建替機械設備工事(塩谷B住宅)]
	損害賠償額の決定について
	教育委員会委員の任命について(黒田仁美氏)

態度の分かれた議案

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	共産	立・市	
市長提出	令和7年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	可決
議員提出	非核港湾条例案	×	×	×	○	○	否決

全会一致で継続審査となった議案

区分	件名
市長提出	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度港湾整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度水産物卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度住宅事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
	令和6年度病院事業決算認定について
	令和6年度水道事業決算認定について
	令和6年度下水道事業決算認定について
	令和6年度産業廃棄物等処分事業決算認定について
	令和6年度簡易水道事業決算認定について

※継続審査となった決算議案については、第3回定例会閉会後の決算特別委員会で審査を行い、同委員会における審査結果については、第4回定例会で採決する予定です。

第3回定例会に提出された意見書

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	みらい	共産	立・市	
意見書	安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と待遇改善を求める意見書(案)	×	×	×	○	○	否決
	*OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書(案)	×	×	×	○	○	否決
	国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書(案)	○	○	○	○	○	可決

第3回定例会において可決された意見書は、関係省庁等へ提出いたしました。

賛成○ 反対× 継続審査△

(自民=自由民主党、公明=公明党、共産=日本共産党、立・市=立憲・市民連合)

※…7ページの用語解説をご覧ください。

		編集後記					
		暑くて長い夏がやつと終わり、この市議会だよりが皆様のお手元に届く11月にはそろそろ暖房が必要になつていると思います。皆様いかがお過ごしでしょうか。					
委員長	■広報委員	SNSの活用も5月1日から本格的に始まりました。フェイスブックとインスタグラムです。本会議の情報や、各委員会の時間帯など詳しく述べていますのでスマートフォンをお持ちの皆様はご覧になってください。一人でも多くのいいね!とフォローをお願いします。					
下兼 鈴木	下兼 横尾						
中平	松井 真理子						
下兼	英司						
淳二	薰						
理史	薰						
眞美子							

■小樽市議会ホームページ（小樽市議会中継）

小樽市ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp> のトップページ「市議会」からアクセスしてください。

■「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。

宛先 （〒047-8660）小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315 E-mail:gikai@city.otaru.lg.jp